

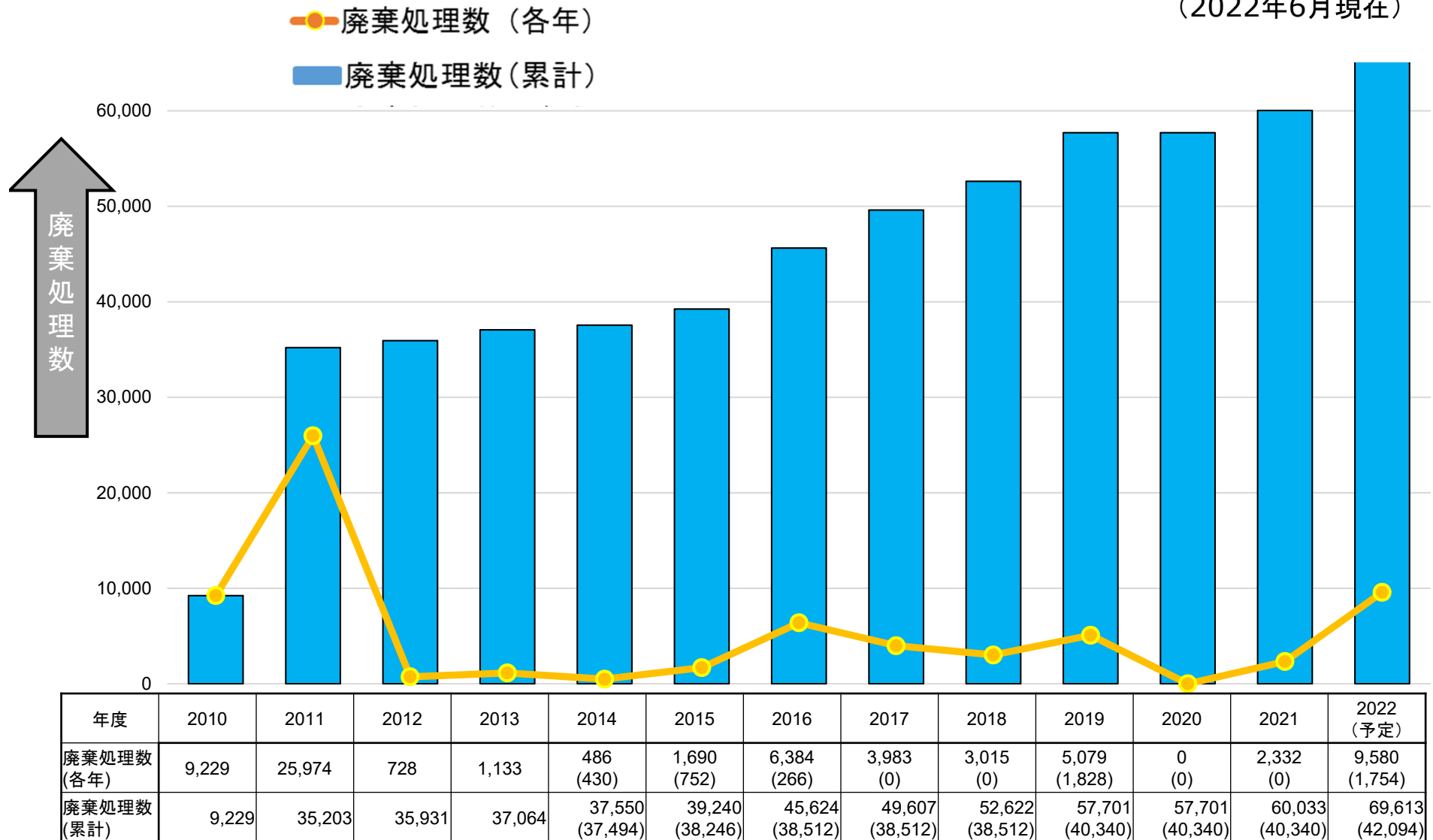
2. 移動式処理事業

別添2

(1) 廃棄処理数の推移（実績及び予定）

【単位：発】

(2022年6月現在)



※廃棄処理数は化学兵器禁止機関（OPCW）報告数

（注）カッコ内の数値は、移動式処理設備による処理数（内数）

(2) ハルビン事業

【経緯等】

- 現行廃棄計画(2017年3月採択)において、ハルバ嶺を除き、北部に残存する遺棄化学兵器について、移動式処理設備により2022年までにハルビンで処理することに合意。
- 2013年に処理場の設計等を開始、2015年に敷地造成等、2017年に処理場内の建物等の建設に着手し、2019年に竣工、2019年5月から廃棄処理を開始。

【進捗状況・今後の予定等】

- 2019年度(初年度): 1, 828発の廃棄処理を終了。
- 2020年度及び2021年度はコロナの影響を受け休止。
- 2022年度に処理事業を再開し、ハルビン周辺の砲弾(1, 754発)を廃棄予定。

チャンバー



設備収納庫



ハルビン処理場全景



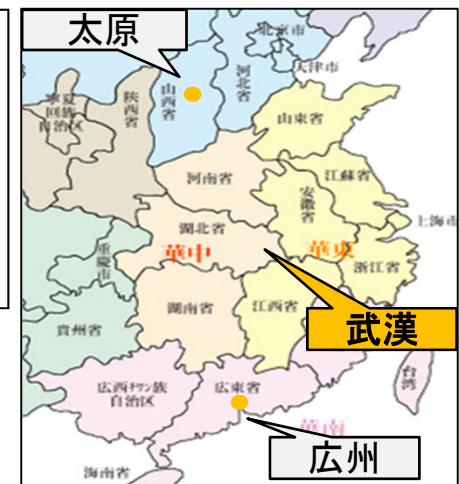
(3) 高機動型移動式処理設備の導入（武漢への展開）

【経緯等】

- 現行廃棄計画(2017年3月採択)において、広州及び太原の遺棄化学兵器について、移動式処理設備により2022年までに処理することに合意。
- 従来と比してより機動的かつ効率的に処理を実施ができる「高機動型移動式処理設備」を開発。
- 最初の展開地として計画していた広州は、地権者との補償交渉が難航したことから、日中間で再協議を行い、武漢において事業を開始することを計画。

【進捗状況・今後の予定等】

- 現在、武漢で事業を開始するために運用面などについて具体的な計画を調整中。
- 今後、武漢及び太原において砲弾の廃棄等を予定。



(3) 高機動型移動式処理設備の導入（設備の概要）

【高機動型のメリット】

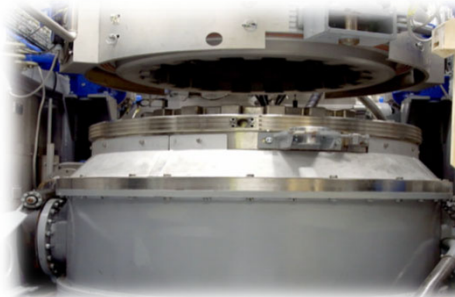
より少ない用地面積に、より短期間で、よりコンパクトな設備・人員をもって展開・撤収可能

項目	現行の移動式処理設備	高機動型移動式処理設備
処理場面積	30,000㎡程度(最小の石家荘の場合)	20,000㎡程度(武漢)
建設期間	最低でも1年半(ハルビンでは6年)	約4か月(用地造成)+18日(施設設置)
処理場の形態	大規模な造成・堅牢な施設	最小限の用地造成・ユニットコンテナの組み合わせ
要員数	45名程度	23名程度
設備	制御爆破方式	加熱爆破方式

展開した設備全景(概要)
後方は処理設備の格納テント



高機動処理設備Ⅰ型爆破チャンバー



高機動処理設備Ⅱ型
きい剤補給容器(200Lドラム缶)装荷



コンテナ外観(設備収納時)



(4) 遼源事業

【経緯等】

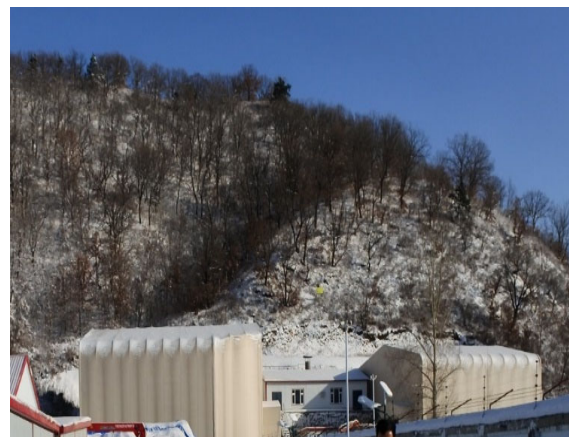
- 1970年代初頭、大量(74トン)の化学剤が石灰と混ぜられた状態で2基の貯液槽に貯蔵された。
- 2011年、外務省調査の結果、旧日本軍の遺棄化学兵器としてOPCWに申告。
- 現行廃棄計画(2017年3月採択)において、2022年中に廃棄のための技術的事項及び適切な廃棄方法に関する検討を完了し、廃棄計画の作成を行うことに合意。
- 2017年より内閣府による調査を開始(保管庫周辺の状況調査、土量調査)。
- 2022年2-3月に貯液槽内の内容物の詳細調査を実施。

【進捗状況・今後の予定等】

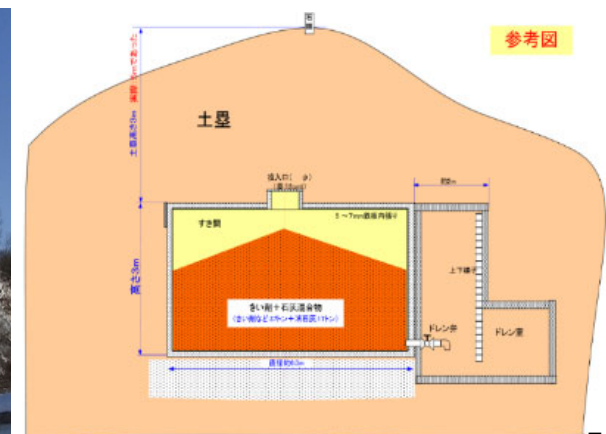
- 詳細調査の結果をもとに「遼源の廃棄計画」を2022年内に策定予定。
- 今後、貯液槽を覆っている上部土砂の全面除去を実施予定。



保管庫(テント)の外観



地下貯液槽(参考図)



(5) 砲弾輸送 (実績及び予定)

各地で回収された遺棄化学兵器を、廃棄処理のため処理場・保管庫等に輸送し集約する。

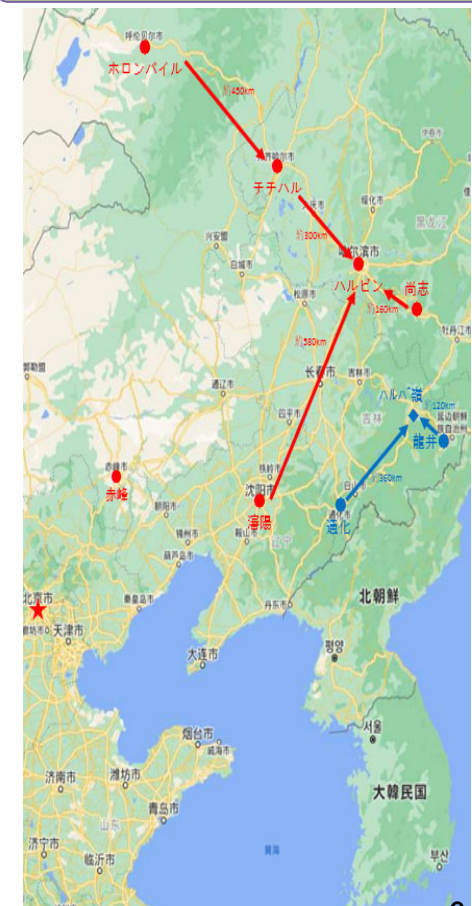
○2021年度実績

- ・ハルビン及びハルバ嶺への集約(8月～9月)
- ・南寧から広州への輸送(10月～11月)

2021年度南寧から広州への輸送



2021年度ハルビン・ハルバ集約



○2022年度予定

- ・引き続きハルビン集約への準備 等

砲弾輸送の車列イメージ



耐爆チャンバー車



(6) 廃棄物輸送（最終処分）

南京廃棄物のパイロット輸送

- 南京における廃棄処理事業によって発生し、南京保管庫に保管中の廃棄物約20トンを、ドイツの処分場に試験的に輸送し、最終処分を行う事業を実施中。
- 廃棄物の国際移動に関する条約及び中国・ドイツの国内法に従い輸出入手続きを行い、2022年度中の輸送、最終処分の完了を目指している。



燃焼処理された砲弾残渣、焼却灰



輸送梱包済み廃棄物（南京保管庫）